

教員名	尾高 直子 (ODAKA Naoko)
所 属	人間文化研究科
学 位	2005年3月 人文博士
職 名	リサーチフェロー
URL / E-mail	odaka@cc.ocha.ac.jp

#### ◆研究キーワード

平安文学 / 和歌 / 和泉式部 / 表現

#### ◆主要業績

総数 ( 1 ) 件

・『千里集全釈 私家集全釈叢書 36』平野由紀子・千里集輪読会 共著 風間書房 2007年2月

#### ◆研究内容

『和泉式部集 (特に続集末尾にある日次歌群)』を中心に、『源氏物語』などに『信明集』の歌物語化された歌群の影響が見られることに着目し、和泉式部や紫式部が仕えた彰子のサロンにおいて『信明集』の歌物語化歌群が愛読され、作家たちが次々この表現を受容し各々の作品を創作したのではないかと仮説を立てた。そして、彰子以外のサロン、特に大斎院サロンにおける引歌の特徴を分析し、サロンにおける和歌活動の傾向を視野に入れる重要性を確信した。そこで『和泉式部日記』の表現について検討し、その表現が彰子サロンの影響を受けているか否かを考察している次第である。

また、リサーチフェローという職は雑務に縛られず自由な場所で研究できる職種なので、夫の転勤に伴い 2005 年度よりウィーンで活動している。2006 年度は出産のため活動が停滞したが、ウィーン大学の日本語教師会の会員として定例会に参加した。

## ◆Research Pursuits

---

Analyzing the expressions in Izumishikibu-Syu and The Tale of Genji, I notice that the same expressions of two works are also seen in Saneakira-Syu which is a work of waka before Izumishikibu flourished as a writer. Then the analysis makes it clear that they accept the expressions in the previous works such as Saneakira-Syu when they serve Syoshi as Nyobo. I also analyze the works which belong to Osain-salon, and conclude that it is important to analyze the unique expressions of the each "salon". Now I investigate the expressions in Izumishikibunikki to consider whether the work belongs to Shoshi-salon or not.

Research Fellow is a kind of occupation which is permitted to study anywhere I like. So I am living in Vienna with my husband since 2005. In 2006 I did not get along in my study, as I gave a birth in October. After giving a birth, I took part in a regular meeting at the University of Vienna as a member of the Japanese teacher society.

## ◆共同研究可能テーマ

---

- ・平安文学研究の国際化

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

和泉式部続集末尾に存する「日次歌群」の表現を通して、和泉式部の作歌活動の実態を明らかにし注釈を施す。さらに『和泉式部日記』との相違も分析し平安時代の文学のあり方を追究する。また、平安文学研究のグローバル化を視野に入れ、海外の研究者・学生が活用できるようなテキストを考案したい。現在、海外における日本語教育において、平安文学が取り扱われることは稀である。平安文学の実態を中心にしたテキストを通して平安文学研究の活性化を図りたい。